

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標4_都市基盤・防災・防犯・消防】

施策 4-2_道路の整備

基本計画		事業番号	細事業名称
4-02-01	幹線道路の整備	08045_01	上部東西線改良事業(街路)
4-02-01	幹線道路の整備	08060_01	道路整備事業負担金
4-02-01	幹線道路の整備	08062_01	都市計画街路事業負担金
4-02-01	幹線道路の整備	08077_01	上部東西線改良事業(地方道)
4-02-01	幹線道路の整備	08272_01	宇高西筋線改良事業
4-02-02	生活道路の充実	08014_01	橋りょう長寿命化事業
4-02-02	生活道路の充実	08100_01	市道敷地内未登記処理事業
4-02-02	生活道路の充実	08120_01	道路整備事業
4-02-02	生活道路の充実	08216_01	道路緊急舗装等事業
4-02-02	生活道路の充実	08279_01	新居浜東港線側道整備事業
4-02-02	生活道路の充実	08291_01	市役所南通り線改良事業
4-02-02	生活道路の充実	08294_01	別子山地区市道等管理事業
4-02-03	道路交通安全対策の推進	08015_01	交通安全施設整備事業
4-02-03	道路交通安全対策の推進	08252_01	自転車道整備事業

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08045_01		
事業名(行目名称)		上部東西線改良事業(街路)	細事業名	上部東西線改良事業(街路)			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	事業実施にあたり、地元説明会等を行い、用地買収及び道路改良工事を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	本路線は上部地区を東西に結ぶ、国道11号のバイパス機能を持った路線であるとともに、県総合博物館や広瀬公園・山根公園を直線的に結ぶ路線である。国道11号の交通混雑の緩和と交通安全の確保を図り、市民の生活や観光・産業を支える交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		99,318	146,700	234,700	113,014	<ul style="list-style-type: none"> ○役務費 2,500千円 ○委託料 12,200千円 ○工事請負費 88,000千円 ○公有財産購入費 32,000千円 ○補償補填及び賠償金 100,000千円 	
財源	県・国支出金	54,426	78,100	126,500	60,308		
	地方債	40,100	57,500	93,100	44,400		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	4,792	11,100	15,100	8,306		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
事業進捗率(%) (累積事業費/総事業費)		目標値	13.7	23.5	27.6	31.7	41.3
		実績	8.3	19.1	22.4	26	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
用地交渉協議に不測の日数を要しており、用地買収等の事業進捗が遅れているが、引き続き事業を実施し、早期完了を目指す。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
早期開通に向けて予算を拡大する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
用地交渉協議に不測の日数を要したが、引き続き事業を実施し、早期完了を目指す。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08060_01		
事業名(行目名称)		県営事業負担金(道路)	細事業名	道路整備事業負担金			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	県道利用者	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	愛媛県土木建設事業負担金条例に基づき、事業費の一部を市が負担する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	幹線道路網の整備(地域交流幹線道路、市街地への接続道路の整備)・地方拠点間を結ぶ県道の整備。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		8,179	10,000	10,000	8,839	○負担金補助及び交付金 10,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	8,179	10,000	10,000	8,839		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
市内の県道の規格整備率(%)		目標値	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5
		実績	86.3	86.3	86.3	86.4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
課題等はないが、今後も県営事業の推進を強く要望していく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
県営事業量を把握し、過不足のない予算要求を行う。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
市内の幹線道路網整備において必要な県営事業の負担金であるため、引き続き事業を継続する。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08062_01		
事業名(行目名称)		県営事業負担金(街路)	細事業名	都市計画街路事業負担金			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	都市計画課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	県道利用者	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	愛媛県土木建設事業負担金条例に基づき、事業費の一部を市が負担する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	幹線道路網の整備(地域交流幹線道路、市街地への接続道路、市内幹線道路の整備)・渋滞の緩和を図り、道路渋滞による損失時間を削減する。・歩行者や自転車が安心かつ快適に通行できる道路空間の創出。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 67,351千円	
経費		38,773	67,351	67,351	65,031		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	34,800	60,400	60,400	58,000		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,973	6,951	6,951	7,031		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
市内の県道の規格整備率(%)		目標値	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5
		実績	86.3	86.3	86.3	86.4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
課題は特にないが、今後も県営事業の推進を強く要望していく。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
愛媛県の事業予定費減により縮小する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
市内の幹線道路網整備において重要な県営事業の負担金であるため、引き続き事業を継続する。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08077_01			
事業名(行目名称)		上部東西線改良事業(地方道)	細事業名	上部東西線改良事業(地方道)				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,521人				
	手段(どうやって)	地元説明会等を通じ円滑な事業実施への協力を求め、用地買収及び道路改良工事を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	上部東西線は、上部地区南部を東西に結ぶ、国道11号バイパスのバイパス機能を持った路線であることから、国道11号の交通混雑の緩和や地域住民の安全性と利便性の向上を図るとともに、新居浜市における交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		84,339	106,140	166,500	123,191	<ul style="list-style-type: none"> ○役務費 1,200千円 ○委託料 20,100千円 ○工事請負費 27,000千円 ○公有財産購入費 40,000千円 ○補償補填及び賠償金 78,200千円 		
財源	県・国支出金	45,964	56,562	89,760	66,775			
	地方債	33,800	41,600	66,000	49,100			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	4,575	7,978	10,740	7,316			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
事業進捗率(%) (累積事業費/総事業費)			目標値	10.8	23.4	28.6	33.8	48.6
			実績	4.4	18.9	24.7	30.5	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
用地交渉協議に不測の日数を要しており、用地買収等の事業進捗が遅れているが、引き続き事業を実施し、早期開通を目指す。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
早期開通に向けて予算を拡大する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
用地交渉協議に不測の日数を要したが、予定箇所の96%を契約できた。引き続き事業を実施し、早期開通を目指す。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08272_01		
事業名(行目名称)		宇高西筋線改良事業	細事業名	宇高西筋線改良事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	地元説明会等を通じ円滑な事業実施への協力を求め、用地買収及び道路改良工事を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	宇高西筋線(松の木東雲線)の安全な交通空間の確保を図るとともに、新居浜市における交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース ○役務費 1,000千円 ○委託料 2,800千円 ○工事請負費 151,540千円 ○公有財産購入費 2,000千円 ○補償補填及び賠償金 24,000千円	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		77,140	97,450	181,340	75,560		
財源	県・国支出金	41,890	53,047	99,187	41,266		
	地方債	30,800	39,000	73,000	30,400		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	4,450	5,403	9,153	3,894		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
事業進捗率(%) (累積事業費/総事業費)		目標値	21.4	42	61.5	81.1	100
		実績	17.9	34.1	55.5	60.9	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
吉岡泉土地改良区の水路に関連する工事のため、農閑期の施工となっており事業進捗が遅れているが、11月末までの工事発注で早期開通を目指す。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	縮小				
令和5年度完了となることから、予算は縮小する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
道路工事に支障となる電柱の移転先協議に不測の日数を要したが、工事については発注がほぼ完了した。引き続き事業を実施し、早期開通を目指す。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08014_01		
事業名(行目名称)		橋りょう長寿命化事業	細事業名 橋りょう長寿命化事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実	担当課 道路課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	118,521人		
	手段(どうやって)	平成26年度に策定した路線の重要度や損傷の重大性を考慮した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	従来の事後的な修繕を見直し、予防的な修繕を行うことによって、補修費用のトータルコスト縮減及び橋梁の長寿命化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		33,043	168,000	238,000	47,814	○委託料 134,000千円 ○工事請負費 34,000千円	
財源	県・国支出金	13,420	79,850	118,350	22,740		
	地方債	500	52,400	83,900	5,100		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	19,123	35,750	35,750	19,974		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
修繕実施橋梁数(橋)		目標値	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
老朽化が進行している橋梁数が年々増加している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
老朽化した橋梁について補修を実施し、重要なライフラインである道路の安全で安心な通行環境を確保する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
老朽化した橋梁について補修を実施し、重要なライフラインである道路の安全で安心な通行環境を確保できた。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08100_01			
事業名(行目名称)		市道敷地整理費	細事業名	市道敷地内未登記処理事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	未登記敷地	数値	17,000筆				
	手段(どうやって)	地権者との協議調整、境界立会、関係機関法務局・地方局等との連絡調整を十分行った。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市道敷きにおける境界の確認や分筆登記等を行うことにより、市道敷地の権原を明らかとし、確定させる。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○役務費 4千円 ○委託料 1,786千円		
経費		836	1,790	1,790	1,532			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		836	1,790	1,790	1,532			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
未登記処理総筆数			目標値	879	879	896	896	896
			実績	864	878	888	900	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
例年同様、地権者との協議調整を行い、境界立会を実施している。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
市道を適正に管理するため、引き続き市道敷きの境界・権原を明らかとし確定させる。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
市道敷の境界、権原を明らかとし確定させることで、市道の適正な管理が可能となった。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2022	08120_01	
事業名(行目名称)		道路整備事業		細事業名			道路整備事業
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策			道路の整備
	基本計画	生活道路の充実		担当課			道路課
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値		116,052人	
	手段(どうやって)	道路施設を適切かつ計画的に修繕を実施するとともに、生活道路の道路環境整備についても、計画的に実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市内の道路施設を常時良好な状態に保つとともに安全安心な道路環境の整備を図りたい。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		242,343	140,000	250,000	236,787	○旅費 350千円 ○需用費 24,918千円 ○役務費 2,050千円 ○委託料 107,400千円 ○工事請負費 104,100千円 ○原材料費 400千円 ○公有財産購入費 5,000千円 ○負担金補助及び交付金 282千円 ○補償補填及び賠償金 5,500千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	2,800	0	2,000			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	239,543	140,000	248,000	236,787		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
道路施設補修要望(過去3年間)に対する実施率(%)		目標値	100	100	100	100	100
		実績	60.2	38.6	40.1	10.2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
市内の道路施設の老朽化が進んでおり、緊急性があり、優先度の高い修繕箇所が増えてきている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
道路施設の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕の実施が必要となっている。また、道路の改良要望についても、地元の協力が不可欠であり、今後、丁寧な事業推進を実施するために、継続的な予算確保が必要となっている。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
老朽化が進んだ道路施設について、計画的に修繕及び補修を実施し、道路拡幅等の道路環境の向上整備についても計画的に取り組むことが出来たが、市民からの要望件数が増加していることから、今後も事業の推進を図る必要がある。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08216_01			
事業名(行目名称)		道路緊急舗装等事業	細事業名 道路緊急舗装等事業					
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 道路の整備					
	基本計画	生活道路の充実	担当課 道路課					
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	118,521人			
	手段(どうやって)	修繕候補箇所内の、路線の重要度や損傷の度合い、市民要望を考慮し、補修の優先度の高い区間から緊急舗装工事を実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	修繕候補箇所として抽出された市道について緊急舗装工事を行い、円滑で安全かつ快適な通行を確保する。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 100,000千円		
経費		99,130	100,000	100,000	100,000			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	21,700	0	24,200	24,200			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	77,430	100,000	75,800	75,800			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
舗装補修箇所路線数			目標値	0	13	13	13	13
			実績	0	13	13	13	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する					
道路管理延長の内、老朽化が進んでいる舗装箇所路線が多数あることや、市民による補修要望件数が増加してる。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
老朽化が進んでいる舗装箇所の補修を進め、安全で安心な通行環境の確保を図る。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
老朽化が進んでいる舗装箇所の補修を進め、安全で安心な通行環境の確保が図れた。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08279_01			
事業名(行目名称)		新居浜東港線側道整備事業	細事業名	新居浜東港線側道整備事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民		数値	118,521人			
	手段(どうやって)	県道新居浜東港線の側道を整備することにより、本線の円滑な事業進捗を図る。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	県道新居浜東港線の円滑な事業進捗を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		52,176	127,370	41,935	35,114	○公有財産購入費 25,870千円 ○補償補填及び賠償金 101,500千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	46,900	114,600	37,800				
	その他	0	0	0	0			
一般財源		5,276	12,770	4,135	35,114			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
事業進捗率(%)(累積事業費/総事業費)			目標値	5.9	43.5	72.6	76.2	83.5
			実績	3	24.7	29.7	37.7	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
引き続き地権者との交渉を行い、用地補償内容に理解が得られるよう事業を進める必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
県との協議により、県道の事業進捗に合わせて事業を推進する必要がある。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
未買収箇所について、来年度中の買収が完了するよう、引き続き交渉を実施していく。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08291_01			
事業名(行目名称)		市役所南通り線改良事業	細事業名	市役所南通り線改良事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,521人				
	手段(どうやって)	道路改良工事を実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	総合防災拠点施設後期付帯工事として、市役所南通り線の歩行者等の通行環境の改善を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		6,930	20,000	4,500	4,304	○工事請負費 20,000千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		18,000	4,000				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	6,930	2,000	500	4,304			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
整備延長			目標値	0	70.1	138.6	250	—
			実績	0	70.1	70.1	250	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
事業実施にあたり、関係者との調整に不測の日数がかかったため、着手が遅れているが、今後、事業目的達成のため事業を推進する。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止					
令和4年度にて完了のため廃止とする。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		D:事業の統合・休廃止を検討					
計画通り実施できた。								

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08294_01		
事業名(行目名称)		別子山地区市道等管理事業費	細事業名	別子山地区市道等管理事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区内の市道及び林道	数値	18路線			
	手段(どうやって)	市道及び林道の除草を年2回を計画的に実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子山地区における市道及び林道の整備を図り、市民及び観光客などが円滑かつ安全な通行を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○委託料 3,302千円	
経費			3,302	3,302	3,301		
財源	県・国支出金		0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		3,302	3,302	3,301		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
実施路線数		目標値			18	18	18
		実績			18	18	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
年2回の除草について9月末までに完了した。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
円滑な通行を確保するために、現状のまま事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
草刈りをする事で円滑な通行ができるため、現状のまま事業を実施する。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08015_01		
事業名(行目名称)		交通安全施設整備事業	交通安全施設整備事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 道路の整備				
	基本計画	道路交通安全対策の推進	担当課 道路課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	交通安全施設(防護柵、道路照明等、反射鏡、標識及び路面表示等)の設置及び既存施設の更新、維持補修 歩道の整備					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市道及び生活道の交通安全施設や歩道の整備を行うことで、交通安全の確保を図り、人に優しい交通環境の整備を行う。					
III 投入費用							
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○工事請負費 19,000千円 ○原材料費 1,000千円	
経費		20,386	20,000	20,000	18,205		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	20,386	20,000	20,000	18,205		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度
(実施箇所数/要望箇所数)×100(%)			目標値	60	60	60	60
			実績	42	40	40	60
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
カーブミラーや区画線の 신설及び復旧に対して、市民要望も強く、現状のまま維持し、交通安全施設対策を実施する。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
安全対策を実施して行くことに対しては、新設及び復旧も含めて継続して実施していく必要があるため、現状維持で実施する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和4年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
カーブミラーや区画線の 신설及び復旧を行い、交通安全対策を実施することができた。							

令和4年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2022	08252_01			
事業名(行目名称)		自転車道整備事業	細事業名	自転車道整備事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	道路交通安全対策の推進	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,521人				
	手段(どうやって)	「新居浜市自転車ネットワーク整備基本計画」を策定したところであり、今後、本計画に基づき、自転車通行帯のカラー化や路面標示による通行位置の明示などを行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	安全で快適な自転車利用環境の創出を推進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和3年度 決算額(千円)	令和4年度(千円)			令和4年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		7,523	15,000	15,000	11,702	○工事請負費 15,000千円		
財源	県・国支出金	4,137	8,250	8,250	6,436			
	地方債	3,000	6,000	6,000	4,700			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	386	750	750	566			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和2年度	令和3年度	令和4年度中間値	令和4年度	令和5年度	
自転車専用通行空間の整備延長(km)			目標値	34.2	35.2	36.3	36.3	36.9
			実績	32.9	35.2	35.2	36.3	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
規制を伴う自転車専用通行帯の実施については、県警本部との協議が必要となり、不測の日数を要する。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
自転車ネットワーク計画に基づき、市街地を中心にネットワーク形成を実施しており、今後も形成を図る必要があるため、現状維持で実施する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和4年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
自転車専用通行空間を整備することにより、自転車が安全で快適に通行することができるようになった。								